

文具の共同商談会

日販・中三エス・ティ

書店の文具販売が好調

具の販売実績は、2023年3月〜2024年3月の13カ月連続で前年を超えるなど、書店店頭での文具の売上は安定してきつつつある。一方で書籍・雑誌の売上減少はとまらず、厳しい状況が続いている。新物流センター「N-PORT 新座」を今年10月に開設予定で、本と親和性の高い商材である文具・雑貨を書店に向けて出荷する。さまざまな商品を管理・発送できる倉庫管理システムを導入することにも、ロボティクスによる業務DX化を図り、グループ全体の物流再編への取り組みを進めている。文具・雑貨業界において、日販と中三エス・ティが対応できるマーケットは、まだまだ広がるものと

会場には文具メーカー92社が出展、新商品や季節商品、店頭企画コーナー向けの雑貨など、幅広い商品を展示。受注面では、これまでの手書き伝票に代えて、受注システムを導入し、事務作業の軽減化を図った。文具・雑貨を中心に展開する日販オリジナルブランド「コマモノラボ」「グリーフル」「Fonte」などに加えて、9月発売予定の「一本封ブックカバー」、エ



挨拶する日販・野口取締役



日販と中三エス・ティの共同商談会の会場

ロボットの導入を新導

ピッキング作業を効率化

は、作業者が注文毎に搬送用ピッキングシートを移動しながら商品棚まで移動し、倉庫全体を二筆書きのように商品のピッキングを行っている。商品の注文毎に素早く柔軟に商品を集めて出荷できるという利点があるが、商品を集めるために倉庫全体を歩いている時間が長くなり、ピッキング後に作業員自身が商品

コクヨグループのコクヨサプライロジスティクス株式会社(若林智樹社長、大阪市)は、ラビュタロボティクス社(東京都)のピッキングアシストロボット「ラビュタPAA-MR」を力へ導入、6月15日より本格運用を開始した。同センターで従来採用していたオーダーピッキング

を次の工程の場所まで搬送する必要があるため、ピッキング作業にかかる工数の半分以上を歩行に費やしていた。今回新たに導入したピッキングアシストロボット「ラビュタPAA-MR」は作業者と協働し、ピッキング作業における歩行の大半を人の代わりに担う。注文毎に仕分けされたコンテナを積み込み、自動で対象商品の真横に到着する。作業者は商品棚へ手から移動し、商品を商品棚から取り出してコンテナに投入す

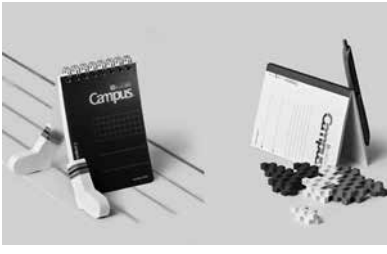
コ活動を進化する「ONE ECO PROJECT」のポリエステリサイクルのポリエステル製ハンカチなどの新商品もいち早く紹介。日販グ

コクヨとファミマ

文具35アイテム全国で発売

コクヨ株式会社(黒田英邦社長、大阪市)は、株式会社ファミリーマート、落合宏理氏と共同で開発を行い、同社オリジナルブランド「ド「コンヒ」二エンスウェア」の新たなアイテムとして文具35アイテムを全国のファミリーマート約1万6300店で発売(一部店舗除く)。

表示二エンスウェアの高まりにより、文具はより高い付加価値が求められている。同社は、文具をライフスタイルツールと捉え、機能や便利さだけでなく、生活者の豊かな暮らしへの貢献に取り組んでおり、今回文具を取り組んでおり、今回文具をユーザーに進んで手に取ってもらえるような「選好品」にするをコンセプトとしたファミリーマートの取り組みに共感し、落合宏理氏のデザイン監修の



コラボアイテム商品

る作業のみを行う。さらに、ピッキングされた商品の搬送業務についても「ラビュタPAA-MR」が代行することで作業員の歩行を削減し、負担を軽減する。また、作業者がピッキング作業のみに集中できるようになることで生産性向上を見込む。

「ラビュタPAA-MR」の導入による想定効果は、ピッキング作業における歩行時間約69%削減、作業所要時間約42%削減、生産性約71%の向上を見込む。

も、ファミリーマートオリジナルブランドの「コンヒニエンスウェア」との共同開発が実現した。アイテムは、さまざまな筆記具に対しての書き心地の良さを追求した「キャンパスノート」などの定番アイテムから、ファミリーマートオリジナルカラーの「カダがたくさんある消しゴム」「カラーマーカー」など、ユニークな35アイテムを揃えた。

また、パッケージには紙や一部にバイオマスプラスチックを使用することで、環境にも配慮したアイテムとなっている。

コラボアイテムは、スライド式ハサミ、カダがたくさんある消しゴム、針なしホットキス、ステイックのり、マーカーセット、キャンパス級ノート。

展示期間は、6月3日〜9月30日。土日祝日と8月13日〜16日は、夏季休暇のため休業日となっている。

株式会社パイロットコーポレーションは、同社1階エントランスギャラリーで「漆芸の世界」大型万年筆展を開催している。

時間約1時間45分、時給を沈金を施した大型万年筆は、筆記具としてのみならず、日本の伝統文化を伝える美術工芸品として日本をはじめ世界各国で高い評価を受けている。重要無形文化財保持者(人間国宝)である田口善國、寺井直次、前史雄の作品をはじめ、迫力ある大型万年筆作品を54点展示している。

また、協同組合大阪紙文具流通センター(堀隆理事長)は、6月13日午後1時から4時30分までセンター西側駐車場にて実施し、19人が協力した。

なお、文紙会館は、7月23日午後6時から安全運転講習会と無事故表彰を行う。業界4団体が共催する。当日は、大阪府南警察署交通課交通総務係の後藤寿男警部補が講師となって講演する。

エコーマインド株式会社
代表取締役 村田和俊
本社 杜336-0023 大阪府東淀川区東中浜9-11-15
東京営業所 千代田区002 東京都墨田区東向島1-1-115

ニッケン文具株式会社
代表取締役 徳弘恭子
〒570003 大阪府東大阪市長田中4-15-14
電話 06-6674-7711
FAX 06-6674-7757
http://www.nikkens.co.jp/

加藤憲ホールディングス
グループ代表 加藤順造
加藤憲ホールディングス株式会社
〒570003 大阪府東大阪市長田中4-15-14
電話 06-6674-7711
FAX 06-6674-7757
http://www.nikkens.co.jp/

株式会社 天一堂
代表取締役社長 中田秀二郎
〒5370025 大阪府東淀川区中道四丁目七番十四号
電話 06-6974-7400
FAX 06-6974-7807

株式会社 ナガサワ 文具センター
代表取締役 長澤宗弘
本社事務所 〒650-0033 神戸市中央区江戸町93 栄光ビル7階
電話 078(321)5600
FAX 078(321)5214
https://www.kobe-nagasawa.co.jp/

KAMIHISA
東京・大阪を拠点に全国展開
時代に適したオフィス創り
Office Life Design (株)カミヒサ
東京: 東京都中央区日本橋本町2-6-1
大阪: 大阪市中央区大手通3-4-2
http://www.kamihisa.co.jp

株式会社 日興商会
代表取締役 藤縄修平
本社 尼崎市東灘区波田五丁目十番三〇号
電話 06-6448-1140
支店 大阪・神戸・京都・東京・名古屋・広島・他

さのぶん株式会社
代表取締役 佐野健一
〒553-0003 大阪府福島区福島7丁目7番24
TEL06(6458)1761-FAX06(6458)1848
URL: http://www.sanobun.co.jp
e-mail: uketsuke@sanobun.co.jp

株式会社 ヤスダ
代表取締役社長 安田耕治
専務取締役 安田隆司
社員 安田一
〒544-0011 大阪生野区田島5-1-4
電話 06(6752)7845
FAX 06(6752)7844
http://www.yasuda-osk.com

株式会社 正美堂
代表取締役 田中大介
本店 〒604-8804 京都市中京区四条通坊城東入
TEL.075-841-4371
FAX.075-811-6590
アスクル事業部
TEL.0120-822-919
FAX.0120-877-919

銀鳥産業株式会社
取締役会長 西村昌彦
取締役社長 西村友秀
本社 〒460-8693 名古屋市中区大須3丁目1番80号
電話(241)9341代
東京支店・名古屋支店・大阪営業所

株式会社 エムディーエス
代表取締役社長 薮聡志
東京都千代田区神田須田町2-6-6
ニッセイ神田須田ビル8F
電話 03(3256)0080

株式会社 天栄
代表取締役 北村健造
〒690 京都府宇治市宇治下宿29-12
TEL 0774(21)2673
FAX 0774(22)0356

株式会社 竹田事務機・文具店 TAG
代表取締役 竹田登
〒600 京都市下京区薬師前町七〇七
電話 075(251)1111
FAX 075(251)0087